

校内体育大会を終えて

250529

校内体育大会では、幸中生の輝く姿が多くの中面で見る事ができ、大成功で終えることができました。個人種目やりレー種目、そして心を一つにしてクラスの仲間と演じた学級アピール大合戦。幸中生のエネルギーがあらゆる中面で発揮され、皆さんが競技や応援をする姿は、観ている人たちの心に残るすばらしいものでした。

競技種目でも、学級アピール合戦でも、順位はつきましたが、各クラスで熱い気持ちをぶつけながらまとまっていき、学級アピールに取り組んだこと、「みんなで」力を合わせ、一人一人が「ひたむきに」取り組み、仲間と共に「夢を描き」、「あたたかく」お互いを応援し合い、体育大会を全校で創り上げたことこそが、価値あるものだと思います。

生徒のみなさんが、クラスの仲間と力を合わせて協力して学級アピールを完成させていったのと同じように、先生たちも力を合わせてこの体育大会を成功に導いてくれました。体育部、生徒会といった中心となる部署の先生方の苦勞と共に、担任の先生方の学級アピールを通してのクラスづくりの大変さ、生徒のみなさんや担任の先生を支える副担任の先生方の裏方としてのフォロー、各係分担で大会を運営する先生方、全ての力が合わさっての昨日の体育大会であったと思います。

そんな中、私の心にジーンときた光景があります。それは、100m走や80m走、1000・1500mで、前を走る子に大きく差をつけられてしまった人が、懸命に走る姿です。昨日のレースでは、どんなに離されても誰一人手を抜くことなく、最後まで自身の全力を出し切ってゴールに飛び込む姿が私の目に焼き付いています。その姿は本当にかっこよかったです。裏を返せば、その姿を温かく見守る仲間がいるから、応援してくれているとわかっているから、胸を張って走り切り、テントに戻っていくことができたのではないかと思います。それは、当たり前前の光景ではないと思います。そんな幸中生の姿を私は誇りに思います。たくさんの感動をありがとう。幸中生の命が輝く姿を見守っていきたいと思っています。